

本「年間指導計画(例)」は実際に指導計画を作成される場合の目安です。  
各学校の実態に応じて、適宜、調整するなどしてご利用ください。

■第1学年(合計96時間)

- ★Sec=Section(各プログラムのセクション番号) ★PU=POWER-UP/L=Listening/S=Speaking/R=Reading/W=Writing  
 ★AT=Action Time(TPR=Total Physical Response:発話者の命令文に対して、聞き手が全身を使って反応する指導方法)  
 ★WW=Word Web(数字、曜日、月、序数などの単語の学習) ★MP=My Project(パフォーマンス活動)

月時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
4	3	<b>Let's Start</b> ① <b>新しい友だちをつくろう</b>	あいさつ, 語彙(小学校), like, can ①あいさつ(L/S) Hello, everyone. / How are you? / My name is ~., etc.	・授業開きは、授業に必要なもの、目標や約束の確認、あいさつの練習、簡単な自己紹介など、楽しく活発に取り組める雰囲気を作る。①~④小学校で学んできたことを音声中心に挿絵などを使ってふり返りながら中学校へのソフトランディングをはかる。ペア、グループ、全体での対話練習やゲームを通して新しい学級での交流をはかり、英語を話しやすい雰囲気を作る。この段階で日本語と英語の違い、中学校では文字を書くことを知らせておき、今後の英語学習への心構えを作る。
		② <b>町の中の会話を聞こう</b>	②町にあるものを英語で(L/S) station, police, flower shop, etc.	
		③ <b>身の回りにあるものの英語</b>	③身の回りのものを英語で(L/S) hat, cap, jacket, T-shirt, door, etc.	
		④ <b>英語を聞いてみよう・使ってみよう</b>	④好き?, できる? I (don't) like ~. / I can('t)~.(L/S) AT1 run, walk, stop	
5	3	<b>1 アルファベット</b> ① <b>アルファベットになれよう</b>	アルファベットを読む・書く ①大文字と小文字(L/S)	・①最初はゆっくり、聞かせ、発音させて、くり返し練習する。「発音チャレンジ」で文字と音の特徴をつかむ。②アルファベットの名前と音に気づかせる。③文字の特徴に気づかせてなぞり、空中に書き、ノートに練習し、pp.20-21のゲームも行い、くり返し練習する。
		② <b>アルファベットが表す音を聞いてみよう</b>	②アルファベットの文字と音 フォニックスの基本(L/S)	
		③ <b>アルファベットを書こう</b> ・ <b>アルファベットであそぼう</b>	③大文字と小文字(W) AT2-4 touch, write, play, use, eat, etc.	
5	1	<b>Classroom English</b> <b>教室で使う英語になれよう</b>	Stand up. / Sit down. / Open your books. / Close your books. / Repeat after me., etc.	・実際に全体で動作をさせながら練習し、ペアで1人が発話し、もう1人が動作をする。
		<b>辞書を引いてみよう</b>	辞書の引き方	・辞書速引き大会をしてゲームで慣れる。
5	4	<b>2 アメリカからの転校生</b> マイクの日本での学校生活スタート。 ① 対話: 互いに名前を言う。 ② 対話: 出身, あなたは~ですか。 ・由紀のクラスにマイクが転校してきた。野球ファンやサッカーファンなのかを質問し合う。	be動詞(肯定・疑問・否定) ①Hi, <b>I am</b> Yuki. Oh, <b>you are</b> Yuki. <b>I'm</b> Mike. ② <b>Are you</b> a volleyball fan? Yes, I am. / No, I'm not. <b>I'm not</b> a volleyball fan. AT5, 6 read, watch, listen, sing, etc.	①26w/6s/11nw ②25w/6s/8nw ・音声を聞かせて本文の内容を推測させる→内容理解のあと、音読練習、本文を覚えて暗唱できるようにする→ペアで役割を決めて、自分の名前を使ってみんなの前で発表できるように一定時間練習させる→発表する。
		1 PU1 <b>W: 単語・文の書き方</b> WW1 <b>数の言い方</b>	単語の書き方, 文の書き方の約束事 数字, 年齢, 電話番号, 値段	・同じ内容をノートに数回書かせて点検する。 ・指導後, warm-upで数時間練習を継続する。
5	4	<b>3 ウッド先生がやってきた</b> ALTのウッド先生が教室で自己紹介をする。 ① スピーチ: 好きなこと, すること。 ② 対話: 好きですか。/ ~しません。 ・ウッド先生の自己紹介を聞いて、日本食やマンガが好きかどうかを質問する。	一般動詞(肯定・疑問・否定) speak, have, like, love, read, watch, etc. ① <b>I like</b> music. <b>I like</b> music too. <b>I play</b> the guitar. ② <b>Do you eat sushi?</b> Yes, I <b>do</b> . / No, I <b>don't</b> . <b>I don't</b> like <b>sushi</b> . AT7, 8 study, clean, go, cook, etc.	①26w/7s/18nw ②35w/9s/13nw ・教科書を閉じたまま音声を数回聞かせて、わかったことをノートに書かせる→聞き取れたことを生徒に発表させる→要点の解説、音読練習をして、教科書右下の音読マークに鉛筆で色を塗る(この段階では、くり返し読むことが必要なので、家庭学習も含めて5回読んだら1つ塗るという使い方もできる)。
		1 <b>アクションコーナー</b> アクションカード①~⑯を使い、~しなさい、~してはいけませんを言う。 WW2 <b>曜日と天気の違い</b> 曜日と天気の学習、曜日のたずね方、天気のとずね方。	命令文 <b>Play</b> baseball. <b>Don't</b> [Do not] play baseball. 曜日の歌, Sunday ~ Saturday	・TPR, 教師の英語の指示に従って生徒は体を動かす。全体練習後, ペアでも行う。そして、教科書のPlay Itで3つの活動をする。 ・曜日を英語で発音する→歌う→文字を見せて読めるようにする。質問して曜日や天気を答える活動や「やってみよう」を行う。

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい ----- 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
6	1	PU2	L: <b>転校生への質問</b>	I like ~. / Do you have ~? / No, ~.	・わかるまで聞かせて達成感をもたせる。
	6	4	<b>リサイクル活動</b> リサイクルについて学校で対話し、実際にリサイクル活動に参加する。 ① 対話: 何をするのか質問する。 ② 対話: 2つ以上のものを表現する。 ③ 対話: 数をたずねる。 ----- ・由紀, 武史, マイクはリサイクル活動を行い, NPOにペットボトルのキャップを送って発展途上国の子どもたちの命を救う活動に取り組む。	What, How manyの疑問文/単数・複数 の違い ① <b>What</b> do you study on Monday afternoon? I study English and Japanese. ② I have a pencil. How about you? I have two <b>pencils</b> . ③ <b>How many</b> CDs do you have? I have five CDs.	①35w/7s/16nw ②33w/7s/15nw ③39w/7s/13nw ・新出語句の練習後, 音声を聞かせて大意を把握させる→「武史は日曜日には何をしますか」など, 数個の質問をしてから再度聞かせる。内容理解後, 音読練習(overlapping, read and look-up, etc.), 暗唱。 ・教師: What do you usually do on Sunday? 生徒: I listen to music.などのQ&A練習。そしてペアやグループで練習。 ・内容を小変更しスキット作成→練習→発表。
	4	MP1	<b>自分のことを話そう</b> 自己紹介スピーチを発表する。 ① 2つのスピーチを読み構成を知る。 ② Writeで書いた文やp.46で下書き。 ③ 原稿完成後, 協働学習で助言。 ④ 練習, 発表, 評価。	I am ~. (2-1) / I'm from ~. (2-2) / I come from ~. / I like ~. / I play ~. (3-1) / I (don't) read ~. (3-2) / I listen to ~. (4-1) / I have ~. (4-2), etc.	・各課右ページのWriteで書きためた英文やモデル文ABの文に少し手を加えて原稿を作る形式の英借文にするとスムーズ。日本語で原稿を作ると複雑な文になってしまう。できた生徒はほかの文や疑問文なども追加させて, どこに加えるべきか全体の流れを見て考えさせる。
	1	PU3	R: <b>英語の掲示・標識など</b>	Wash your hands. / Watch your step. / Be ~. / Don't be ~.	・自力で英文を読んで理解する態度を育てる。
7	6	5	<b>国際フードフェスティバル</b> フェスティバル会場と家での会話。 ① 対話: これは~, あれは~を言う。 ② 対話: どこにあるのか質問する。 ③ 対話: 彼は, 彼女は, 代名詞。 ----- ・由紀, 武史, インド人のアミットは, 国際色豊かな会場でインドや韓国の料理に触れる。そしてアミットの家で家族の写真を見せてもらい紹介を聞く。	this, that/Whereの疑問文/he, she ① <b>This is</b> my bag. <b>Is that</b> your bag? Yes, <b>it is</b> . / No, <b>it isn't</b> . ② <b>Where is</b> my key? It's on the table. ③ This is my brother. <b>He is</b> a teacher. This is my sister. <b>She is</b> a teacher too.	①41w/12s/8nw ②38w/11s/12nw ③37w/9s/19nw ・本課から語数が40語を越える。文字に慣れてきた時期なので新出語句の練習後, 初見で読ませて理解をはかる。次に具体的な質問を数個与えてリスニング→本文を読んで確認。 ・音読練習(overlapping, read and look-up)をくり返し, 正しい発音を身につけたり, 英語を英語で理解したりするように働きかける。 ・最後に音読。日本語を見て英語を言う, 暗唱発表などを行い発話力の基礎を作る。
	2	PU4	S: <b>時刻をたずねる</b>	<b>What time</b> ~?	・1~4の活動は早く終了し, スキット作成と発表に時間を確保する。発表後書けるようにする。
	1		<b>英語のしくみ①</b>	be動詞/一般動詞/命令文/複数形	ペアで日本語を英文にする活動を行う。
9	6	6	<b>由紀のイギリス旅行</b> 由紀は友だちとロンドン市内観光。 ① 対話: ほかの人のことを表現する。 ② 対話: ほかの人のことを質問する。 ③ 対話: ほかの人のしないことを言う。 ----- ・マットはシャーロック・ホームズファンで, 彼(3人称)について由紀に紹介する。地下鉄でホームズ博物館に行く。	3単現の-(e)s(肯定・疑問・否定) ① <b>Do you play shogi?</b> Yes, I do. My sister <b>plays</b> it too. ② <b>Does Kenji like</b> English? Yes, he <b>does</b> . / No, he <b>doesn't</b> . ③ <b>Does your father play any sports?</b> No, he <b>doesn't</b> . He <b>doesn't</b> like any sports.	①44w/10s/12nw ②36w/12s/6nw ③40w/10s/14nw ・新出語句の練習後, 教科書を閉じて音声を聞く→彼らがどこにいるのか予想→本文を読ませて確認→本文の内容を把握する具体的な質問を数問提示して読ませる→内容を確認。 ・音読練習, 感情を込めてスキット練習。3単現の-(e)sは理屈で覚えるよりも口をついて出るくらいまで文を言い, 書く練習をする。 ・スキット発表。
	1	WW3	<b>季節・月の名前と順番・日付の言い方</b>	月の名前, 序数(日付)	・月日の単語は数が多いので, 授業開始前にその日の日付をノートに書くことを習慣化し, 長期間くり返してしっかり定着させる。

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい ----- 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
10	6	7	<b>The Wonderful Ocean</b> 由紀とマイクは釧路沖のシャチウォッチングに参加する。 ① 対話: 人の名前を質問。 ② 説明文: 人について「～を, に」。 ③ 説明文+対話: いつ～しますか。 ----- ・由紀とマイクはシャチウォッチングで, ガイドの笹森さんからシャチの生態について説明を受ける。	Who, Whenの疑問文 / her, him ----- ① <b>Who</b> is that boy? He is my friend Tom. ② This is my friend Miki. I like <b>her</b> . I know her brother. I like <b>him</b> . ③ <b>When</b> do you usually clean your room? On Saturday mornings.	①39w/10s/12nw ②46w/8s/12nw ③46w/9s/13nw ・そろそろ英語学習に慣れてきたころなので, 新出語句の練習後, 初見の英文を自分の力で読み進めることに挑戦させたい。事前に大意を把握する質問を印刷した用紙を用意し, 5分程度で読み取って答えを記入させる。その裏面に注釈や日本語訳があると, 勉強が苦手な生徒も困ったときだけそれを参考にして問題を解くことができる。早く終わった生徒は英文と訳を確認し, 意味をつかんだあとに, 何度も黙読して英語を和訳せず英語で理解する練習をさせる。
		2	PU5 S: <b>持ち主をたずねる</b>	<b>Which</b> ～? / <b>Whose</b> ～?	・本文スキット, 自作スキットを発表させる。
		1	PU6 L: <b>ラジオ放送</b>	放送番組の内容を聞き取る。	・練習終了後, 2,3文のディクテーションを行う。
11	6	1	<b>英語のしくみ②</b>	代名詞/3人称・単数・現在	・人称代名詞や和文英訳の練習をペアで行う。
		8	<b>Origami</b> 大介が教室で折り紙について話す。 ① Show & Tell: できることを言う。 ② 対話: ～できますかのQ&A。 ③ 対話: どのようにするのか質問。 ----- ・大介が折り紙を見せてスピーチをし, 鶴を折ることができるかが話題になる。ウッド先生がどのように折り紙に出会ったかも取り上げる。	can(肯定・疑問・否定) / Howの疑問文 ----- ① Tom speaks Japanese well. Yes. He <b>can</b> read <i>kanji</i> too. ② <b>Can</b> you ski? Yes, I <b>can</b> . / No, I <b>can't</b> . ③ <b>How</b> do you come to school? I come to school by bike.	①42w/8s/8nw ②44w/11s/3nw ③48w/12s/13nw ・初めてのShow & Tell。実際に教師がノアちゃんを持って大介のスピーチを演じる。生徒はそれを見て英文を理解し, メモを取らずにわかったことをスピーチ後に発表させる。①では, ノアちゃんを作り, 本文を覚えてスピーチを行い, MP2につながり練習にする。③ではウッド先生と折り紙との出会いにまつわるエピソードを通じて, 日本の伝統文化である折り紙の素晴らしさに触れる。
		2	PU7 S: <b>許可を求める・依頼する</b>	<b>Can I</b> ～? / <b>Can you</b> ～?	・実際にドアや実物を使ってスキットをさせる。
12	4	1	PU8 L: <b>仮装パーティー</b>	Who's ～?	・ビデオ撮影し, 見せて動き発音を自己評価。
		MP2	<b>人を紹介しよう</b> 好きな人を紹介する。 ① 内容理解, マッピングで分析。 ② マッピングで構想, 原案作成。 ③ 原稿完成後, 協働学習で助言。 ④ 練習, 発表, 評価。	This is ～. / He [She] is ～. (5-3) / My brother [sister] ～. (6-1) / He [She] doesn't ～. (6-3) / He [She] is my ～. (7-1) / This is my friend Miki. I ～. (7-2), etc.	・生徒の好きな芸人やスポーツ選手の写真を印刷するかデジタルテレビに映してShow & Tellを行う。練習は授業最初の5分, 6時数程度起立させてペアやグループで行い自信をつけさせてから発表会をする(授業は先に進む)。発表を成功させて達成感をもたせ, 聴衆の前で堂々と発表することの喜びを感じさせて次につなげる。
		9	<b>A New Year's Visit</b> 元日の朝, 年始のあいさつに行く準備中に電話が鳴るが出られない。 ① 対話: 今, ～しています。 ② 対話: 今, ～していますか。 ③ 対話: 今, 何していますか。 ----- ・元日の朝に電話が鳴るが親子4人は着がえ中などでだれも出られない。やっと息子が出ると祖母からで, 祖父が雑煮を作っていて, もうすぐできそうだとする。	現在進行形(肯定・疑問) ----- ① Can you help me? Sorry, I can't. I'm <b>cooking</b> now. ② <b>Are you studying</b> now? No, I'm not. I'm listening to music. ③ <b>What are you doing</b> ? I'm watching TV.	①43w/11s/13nw ②55w/16s/8nw ③46w/13s/7nw ・初めての電話表現。元日の朝の慌ただしさを感じられる内容。内容把握は簡単なので短時間で終わらせ, グループでスキットに取り組む。登場人物は5人。暗記と練習はグループに任せて自主性を育て, 楽しく現在進行形を学習する。 ・内容理解→グループでアイデアを出し合って内容を少し変更してスキットを作成。 ・完成後, 配役を決めて練習し, グループごとに演じる。見学の生徒たちは各グループの評価とともに, 個人でよい演技をした生徒に投票し演技賞, 発音賞などを決める。
1	PU9 R: <b>想像しながら読んでみよう</b> ① A Man and a Little Bear ② A Baby and a Newspaper	Look at the picture. You can see .... A baby is sitting on the floor.	・この英文は教師が訳してしまうとおもしろ味がなくなる。自力で理解させ, ペアで答えとその理由を考えさせてから発表させる。		

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
12	1		<b>英語のしくみ③</b>	can / 現在進行形 / Whatなどで始まる文	・練習問題, 和文英訳の練習をペアで行う。 ・疑問詞で始まる文を書けるように練習する。
1	6	10	<b>Mike's Visit to Washington, D.C.</b> 冬休みにマイクはアメリカに帰国する。	一般動詞過去(規則)(肯定・疑問) / Whyの疑問文, Because ~	①52w/9s/11nw ②60w/11s/6nw ③53w/11s/5nw ・手紙文の英語は比較的平易な場合が多く, 本課は新出語句も少ないほうなので辞書を使って初見で読ませてみる活動もおもしろい。新出語句も練習せず, 何のスキーマも与えないで辞書だけを頼りに読むことへのチャレンジをさせて, 自律的な学習方法を身につけさせる。 ・内容理解後は音読練習 overlapping, read and look-up, etc.を行い, 暗唱, 音読筆写も定着させた い。 ・過去形を学習したので, ペアで1分間, 前日したことについてチャットをさせる。
			① 手紙: 過去にしたことを言う。 ② 対話: 過去にしたことのQ&A。 ③ 対話: 理由についてのQ&A。 ・ワシントンDCで博物館を見学したマイクはアメリカから由紀に手紙を送る。日本にもどってお土産を渡し, おしゃべりする。	① I visited Washington, D.C. last month. Oh, I lived there ten years ago. Really? I liked the museums there. ② We have a math quiz today. Did you study last night? Yes, I did. / No, I didn't. ③ I study English every day. Why do you study it so hard? Because I like English songs.	
2	4	2	PU10 <b>S: 買い物①(Tシャツを買う)</b>	<b>Can I help you? / How much is it? / Here you are.</b>	・手順通りにやり取りを覚えてペア練習をする。その後, スキット作成→練習→発表。
		MP3 ① 今まで学習した疑問文。 ② カテゴリー別のQ&A。 ③ プロフィールを調べよう。 ④ 先生にインタビューをしよう。	① What is your name? / How old are you? / Where do you live?, etc. ② Greetings, Weather, Job, Family, Address, Hobbies, Time, Place, etc. ③ ②の情報を活用したタスク活動 ④ WhatやHowを使った疑問文	・この日常会話のQ&Aは使用頻度が高く, やり取りをくり返すことで, 文法を意識せずに会話できるパターンを身につけることができる。また, ここを学習する以前からペア, グループ, 教師対全生徒で活動できる内容なのでwarm-upで継続的に取り組む。	
3	5	11	<b>Grandma Baba and Her Friends on a Sleigh</b> ばばばあちゃんと動物の話。	一般動詞過去(不規則)(肯定・疑問)	①47w/7s/13nw ②61w/14s/9nw ③47w/17s/7nw ④51w/8s/8nw ・1年で初めての物語文。プリントの表に内容把握の質問を5問程度, 裏には訳を印刷したものを用意し, 5分程度で読み取らせる。 ・音読練習を行い, 特に発音に気をつけるべき箇所を指定して再度練習を行う。 ・1年生のまとめの活動として, ピクチャーチャートを使用し, 感情を込めてグループで紙芝居発表を行う。ビデオに撮って鑑賞し, 自分たちの英語を聞いてふり返る。
			① 物語: 不規則動詞過去形形の肯定文・疑問文。 ② ③ ④ ばばばあちゃんと寒がりの動物たちがそりに乗って遊び, ポカポカになる物語。	① Where did you go last Sunday? I went to the ABC Sports Shop. Did you go there by bike? No, I didn't. I went there by bus.	
	2	PU11	<b>W: 日記</b> 日記の書き方を理解する。 5文程度の日記を書く。	既習事項を使い, 過去の出来事, 感想を書く。	・家庭学習をする際, 3~5文程度の短い日記を書かせるようにして, 書く力をつける。和英辞典の使用をすすめる。
	1		<b>英語のしくみ④</b>	規則動詞の過去形 不規則動詞の過去形	・練習問題, 和文英訳の練習をペアで行う。 不規則動詞を書けるように練習する。
<b>巻末資料</b>			①Basic Dialogのまとめ(Basic Dialogの英文と訳が掲載されているので, ペア活動や英文を書く練習ができる。) ②動詞を使った基本的な表現(アクションタイムやBasic Dialogなどの英文から動詞を含む重要な表現をまとめた。学校, 普段の生活, 休日のことを自己表現するときに利用できる。) ③英語の書体(アルファベット大文字・小文字のブロック体, 活字体, 筆記体など。) ④ローマ字(へボン式) ⑤英語のつづり字と発音(英語のつづり字と発音の関係をまとめたもの。単語が読めて覚えやすくなる。) ⑥英語の音声(発音の仕方) ⑦英語の歌 Hello, Goodbye / Please Mr. Postman / Eternal Flame / Sing ⑧単語と熟語1(PROGRAM 4までの新出語句(出現順)) ⑨単語と熟語2(アルファベット順) ⑩アクションカード1~4 ⑪教科・文房具 ⑫部活動 ⑬朝起きてから寝るまで [付録]英語で「できるようになったこと」リスト(とじ込み)		

本「年間指導計画(例)」は実際に指導計画を作成される場合の目安です。  
各学校の実態に応じて、適宜、調整するなどしてご利用ください。

■第2学年(合計100時間)

★Sec=Section(各プログラムのセクション番号) ★PU=POWER-UP/L=Listening/S=Speaking/W=Writing

★MP=My Project(パフォーマンス活動) ★AR=After Reading(読み物教材の事後活動)

月時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
4	1	<b>Classroom English</b> <b>英語を使ってみよう</b>	Come to the front. / Go back to your seat. / Can I ask a question?, etc.	・Classroom English は授業中の指示に多用し、生徒にも使うようにさせる。
		<b>辞書を読んでもみよう</b>	英和辞典にはどんな内容が書かれているのかを再確認する。	・授業開きで辞書引き大会をする。ここで主な品詞とその働きを再確認する。
6	1	<b>Did You Enjoy Your Vacation?</b> 新学期、由紀はウッド先生に会う。 ① 対話: 一般動詞・不規則動詞。 ② 対話: 過去の状態を表現。 ③ 発表: 過去のあるときをしていたこと。 ・ウッド先生と由紀が春休みに行った場所について学校で話す。リサも同じテーマで発表する。	一般動詞・不規則動詞/be動詞の過去形/過去進行形 ① I went to Kyoto with my friends. I took a lot of pictures there. ② I was busy with my homework. Was it difficult? The math questions were very difficult for me. ③ What was she doing? She was playing tennis with her friends.	①66w/16s/8nw ②65w/12s/11nw ③63w/11s/17nw ・新出語句の練習後、教科書を開かずにリスニングで内容と場面を聞き取り、発表させる。 ・短い文が多いので、音読練習後、プリントやデジタル教科書で主語や動詞などを伏せて、日本語から英文を言えるようにさせる。 ・ペアで由紀とウッド先生の役割を分担し、音読発表やスキット発表をさせて、新しい学級で積極的に発表する雰囲気を作る。
	2	PU1 <b>W: 連休の思い出</b>	ある程度まとまった文章の書き方	・完成後、協働学習で互いに意見を交換する。
5	1	<b>英語のしくみ①</b>	過去形(一般動詞, be動詞)/過去進行形	・練習問題, 和文英訳, 例文の現在進行形を過去進行形の文にする練習をペアで行う。
	2	<b>A Trip to Finland</b> 由紀がマイクに旅行について話す。 ① 対話: 予定や計画を言える。 ② 対話: 気持ちや考えを言える。 ③ メール: 未来のことを伝える。 ・フィンランドへ行く前と着いてからのスケジュールを由紀がマイクに話す。メールを送る。	未来表現 be going to ~ / I will ~. / It will be ~. ① I'm going to play soccer with my friends. Are you going to play at the park? ② I will answer it. ③ Will it be sunny? It'll be fun.	①65w/12s/10nw ②51w/8s/8nw ③68w/10s/11nw ・初回のリスニングでどれくらいの情報を聞き取れたか確認→新出語句の練習後、再度リスニングで内容を細かく聞き取りメモする→教科書を開き、英文を読んで答えを確認する。 ・③では本文で未来のことを言う表現方法を学び、自分の行きたい場所を地図などを参考にして決定し、英語で書いて発表させる。
6	2	PU2 <b>L&amp;S: 天気予報と予定</b>	<b>How will the weather be ~? / It'll be ~?</b>	・天気予報を聞いて問題を解き、会話練習する。
	3	<b>What Can We Do for Others?</b> Charity Walkについて知る。 ① web pageの案内文: 義務や命令。 ② 対話: 必要性について言える。 ③ 対話: 考えを言える。 ・武史はCharity Walkの情報をネットで集め、リサからアメリカの話聞く。リサと相談し、自分たちも学校で企画して本やCDを売る。	must/have to, don't have to ~ / I think (that) ~. ① You must wait for dinner. ② Do we have to buy a cake for her? We don't have to. ③ I think (that) that's too early for me. I don't think (that) I'll be late.	①58w/8s/18nw ②65w/14s/10nw ③60w/9s/6nw ・①では案内を正確に読み取り、必要な情報をメモさせる。そして、確認して音読練習。 ・②③は読んで大意を把握し、情報を日本語または英語で要約する。音読練習(overlapping, read and look-up, etc.)をする。 ・対話文を要約した内容を見て、ペアで協力して英文を思い出しながら英語で表現し合う。この活動を通してretellingにつなげる。
4	2	PU3 <b>S: 電話①(依頼する・誘う)</b>	<b>Will you ~? / Shall we ~? / Yes, let's.</b>	・対話文の練習後、ペアでこれらの表現を使って新しい対話を作り、発表する。
	1	<b>英語のしくみ②</b>	未来表現/義務などを表す表現(must, have to, should)/接続詞that	・既習事項を復習したあと、練習問題, 和文英訳の練習をペアで行う。
4	MP4	<b>スキット作りを楽しもう</b>	対話をつなげる方法: 相手の話の内容を確認/相づちをうつ/相手の発言内容について質問する/自分の意見や感想を言う	・教師が例文を少し変えて生徒に話しかけ、生徒はそれに各方法で反応する練習をする。 ・③を参考にリアクションを入れたスキットを作成する。④発表したあとに、互いに感想や自分ならこうするという点を話し合う。
	①	対話のつなぎ方。		
②	バリエーションを考える。			
③	スキットを作る。			
④	ペアで演じる。			

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい ----- 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
7	3	4 AR	<b><u>Eigo Rakugo</u></b> 古典落語を英語で楽しむ。 ① 落語: The Hammer ② 落語: A New Point of View [内容把握の確認] ・古典落語にある小話を中学生が演じる。	Reading (復習)	①102w/26s/15nw ②119w/27s/10nw ・新出文法がないので新出語句を練習し、本文を見ないで落語を聞いて内容を把握する。大意を把握できても「落ち」がわからないときは、数回聞かせる。 ・本文を読んで「落ち」をペアで確認する。どちらか好きな落語を選んで、表現豊かに音読練習(overlapping, read and look-up, etc.)する。 ・ペア、グループで練習し発表する。
9	6	5 PU4	<b><u>Gulliver's Travels</u></b> マイクが『ガリバー旅行記』を読む。 ① 対話: ~がある, いる。 ② 対話: ~のとき…。 ③ 観光案内: もし~ならば…。 ・『ガリバー旅行記』について由紀とマイクが話している。日本との不思議なつながりがあった。	There is [are] ~./ 接続詞when/ 接続詞if ① <b>There is</b> a good restaurant near here. ② <b>When</b> you called me, I was sleeping in bed. ③ <b>If</b> it's sunny, I'll go cycling with my brother.	①70w/14s/11nw ②55w/11s/3nw ③52w/6s/11nw ・①②は対話で, ③は観光案内の本文を書く活動で構成されている。①②はリスニングで大意の把握→内容理解, 重要表現の解説をする。本文を読んで重要な箇所を英語でメモする。 ・音読練習後, プリントやデジタル教科書で主語や動詞など重要な語句を伏せて, 日本語訳から英文を言えるようにさせる。 ・メモや教科書を見てretellingの練習をする。ペアやグループでretellingの発表をする。
10	6	6 PU5	<b><u>A Work Experience Program</u></b> 由紀, 武史, 桃子が職業体験について語る。 ① 対話: 自分のしたいことを言う。 ② 対話: 行動の目的を言う。 ③ スピーチ: ~するための表現。 ・由紀は保育園, 武史はスーパー, 桃子はコンピュータ工場での体験を話す。	不定詞 ① I want <b>to be</b> a music teacher. Do you want <b>to sing</b> with students? ② I went to Tokyo <b>to see</b> my aunt. ③ I want something <b>to drink</b> .	①73w/13s/8nw ②69w/13s/11nw ③69w/8s/7nw ・オーラルイントロダクションを行う→音声を聞かせて大意を把握させる→①では「由紀の夢は何か, そしてその理由は何か」, ②では「武史の職業体験での感想, 学んだことは何か」と質問してから聞き取らせる。また, 本文中の不定詞に気づかせ, 確認し, それらを正確に理解をさせる。 ・③の構成を参考にし, ペアで自分の職業体験について即興で1分間のスピーチを行う。
11	6	7 PU6	<b><u>If You Wish to See a Change</u></b> 環境保護のために活動する女性。 ① 説明文: 動作について言う。 ② 語り: 様子・状態を言う。 ③ 語り: ~に…を与える。 ・12歳のときにブラジルの地球サミットで伝説のスピーチをして有名になったセヴァン・カリス=スズキが, 当時をふり返りながら生き方について語る。	英語のインタビューを聞いて書く。 There is [are] ~./ 接続詞when, if/ (to+動詞の原形) (不定詞) 動名詞/ look + 形容詞/ give + 人 + もの ① I enjoy <b>playing</b> tennis. I like <b>playing</b> tennis too. ② You <b>look</b> really cool. ③ I'll <b>give</b> you a present tomorrow.	①65w/6s/11nw ②77w/7s/9nw ③86w/8s/10nw ・この課はやや難易度が高いのでじっくり内容を読み取らせたい。表に質問を5問, 裏に訳を印刷したプリントを用意し6分程度で答えを記入させる。その後, 自分で内容を確認して明確にしておく。 ・②③はモノログなので, 感情を込めた音読練習をくり返し, 表現力を高めたい。 ・ペア, グループで感情を込めて練習し, 徐々に緊張感を高めて最後に学級で発表する。
	2	2 PU6	S: <b>道案内①</b>	<b>Would you like some help? / Could you tell me the way ~? / It'll take ~.</b>	・手順に沿って練習し, 最終段階で自由にやり取りをして, 即興力を高める。

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい ----- 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
11	1		<b>英語のしくみ④</b>	〈動詞の-ing形〉(動名詞) / 〈look [become]+形容詞〉 / 〈主語+動詞+人+もの〉	・既習事項を再確認し、練習問題を行う。例文をペアで訳して、正しく理解しているか確認する。また、和文英訳をペアで行う。
	4	MP5 ① ② ③ ④	<b>スピーチをしよう—こんな人になりたい</b> ① スピーチ原稿の構成を理解する。 ② スピーチの構想を練る。 ③ スピーチ原稿を書く。 ④ スピーチ発表をする。	スピーチの組み立て opening → body → ending Today, I'm going to talk you about ~./ I have two reasons. First ~. Second ~./ I'd like to ~., etc.	・手順どおりに進めるとスピーチが書ける。ノートにマッピングさせて、全体の流れに注意して数回構成の組み立てを調整して完成させる。 ・練習は本番同様起立して行い、④の発表を先延ばしして、授業を先に進める。暗記は一晚でできても、自信は一晚ではつかないので、発表会を数時間後に設定し、全員が達成感を得られるようにする。成功すると発表が楽しくなる。
12	4	8 ① ② ③ AR	<b>Friendship across Time and Borders</b> 日本とトルコの友好関係について。 ① 説明文:トルコ機が日本人を救出。 ② 説明文:両国友好の理由。 ③ 説明文:現在も続く友好関係。 [内容把握の確認] ・1890年に起きたトルコ船海難救助の恩返しとして、イラン・イラク戦争ではトルコによって日本人が救出された。	Reading (復習)	①70w/9s/13nw ②86w/9s/11nw ③82w/7s/6nw ・実話に基づいた説明文で、語数も多く読みごたえがある。しかし、新出文法がなく読むことに集中できるので、なるべく短時間で読み取りをさせたい。長文にも慣れてくるころなので、まず、自力で読み取らせる。 ・Q&Aを英語で行い、内容理解を確認する。 ・また、内容をきちんと理解した上で速読の力を高める活動や、英語を英語で理解する練習も行う。
1	6	9 ① ② ③	<b>A Video Project</b> 交換留学生に送る学校紹介ビデオを作る。 ① 対話:2つのものを比べる表現。 ② 発表:3つ以上のものを比べる表現。 ③ 発表:同じ程度のを比べる表現。 ・武史はソフトテニスについて、桃子は合唱コンクールについて紹介する。	比較表現 ~er than ... / the ~est / as ~ as ... ①It's <b>smaller than</b> Japan. France is <b>larger than</b> Japan. ②The Nile River is <b>the longest</b> river in the world. ③He's <b>as big as</b> yours.	①65w/13s/8nw ②92w/11s/8nw ③70w/10s/3nw ・語数は多いが、比較的平易な文章。リスニングで大意を把握。内容に関する問題を出して、理解を深める。速読力を高めるため短時間で行う。 ・音読練習後、プリントやデジタル教科書で主語や動詞など重要な語句を伏せて、日本語訳から英文を言えるようにさせる。 ・ピクチャーチャートや教科書を見て個人で retelling の練習をする→ペアやグループで retelling の練習をして、学級で発表する。
	2	PU7	<b>S:買い物②(シャツを買う)</b>	<b>Do you have ~? / I'll take it.</b>	・挿絵に近いものを実際に画用紙で作成し、店員と健太の会話のスキット練習をする。また、相手をかえて自由に対話し即興力を高める。
2	6	10 ① ② ③	<b>So Many Countries, So Many Customs.</b> 友だちに外国での体験談を話す。 ① 対話:長い形容詞の比較級。 ② 対話:...より~が好き。 ~がいちばん好き。 ③ 発表 ・桃子とマイクが、ホームステイ先での受け入れ方の違いと言語の特性の違いでそれぞれ異文化体験をする。	長い形容詞の比較表現 more ~ than ..., the most ~ / like ~ better than ..., like ~ the best ①It was <b>more difficult than</b> Questions 1 and 2. It was <b>the most difficult</b> of all the questions. ②I like summer <b>better than</b> winter. I like summer <b>the best</b> .	①76w/12s/9nw ②86w/13s/8nw ③76w/11s/9nw ・対話文で新出語句が少なく、理解しやすい。1回目のリスニングで聞こえてきた語句や内容を生徒に発表させて概要をつかませる。 ・2回目以降は具体的な質問を提示して、ポイントを絞って聞き取らせ、ノートに記入させる。一度に2,3の質問を与えて聞き取らせるようにする。 ・内容理解のあとは、音読練習(overlapping, read and look-up, etc.)をする。長文だからこそ英語を英語で理解しながら速読できるように練習させる。最後はペアで retelling させる。

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
2	2	PU8	W&S:賛成意見・反対意見を言おう	Which is better, summer or winter? Why?	・冬と夏のよい点よくない点について、意見を書いて、理由を言う。ディベートの基礎を理解する。
		6	11 <u>Yui-To Share Is to Live.</u> 白川郷についての発表。 ① レポート発表:「～される」。 ② レポート発表:「…によって～される」。 ③ 体験を発表:①②をもとに、自分にとって特別なものを紹介する文章を書く。 ・白川郷には日本の伝統的な生活スタイルが残っていて、今でも住民が協力して生活している。	受動態 be+過去分詞+(by ～) ①They are made in Hokkaido. ②It was written by my grandfather.	①83w/8s/13nw ②62w/6s/15nw ③51w/8s/5nw ・本課では①②が本文で、③は自分で英文を作る場合のモデルになる。①②は新出語句が多めの説明文なので読解中心で進めて最後の英作文につなげる。 ・内容理解のあと、音読練習(overlapping, read and look-up, etc.)をする。英語を英語で理解しながら速読できるように練習させる。 ・①②はretellingにつなげて、③は自分にとって特別な人やものについて、その様子や状況、感想を含めた文を書く。書いたものを互いに読んで、感想やアドバイスを伝える。
	3	1	PU9 L:観光ガイドの説明を聞き取ろう	大きさ, 距離, 場所の聞き取り	・情報を正しく聞き取れるようにするために、活動後、スクリプトを見ながらoverlappingする。
		1	英語のしくみ⑤	比較級・最上級の文 受け身を表す文	・既習事項を再確認し、練習問題を行う。例文をペアで訳して、正しく理解しているか確認する。また、和文英訳をペアで行う。
4	4	MP6 ① CMの構成を学ぶ。 ② CMで使える表現を練習する。 ③ 台本を書く。 ④ 発表をする。	CMを作ろう—こんなものがほしい ① CMの構成を学ぶ。 ② CMで使える表現を練習する。 ③ 台本を書く。 ④ 発表をする。	コマーシャルの組み立て This is the most useful ～./ If you buy ～./ Check it out!, etc.	・CMは発想が豊かな中学生のやる気を引き出す教材なので、言いたいことを英語で言えるように援助し、正しい英語表現を身につけさせる。CMの特徴を理解しアイデアを出す。 ・表現方法の英文を選択し作成する。 ・台本を構成順に前後のつながりを考えてつなぎ合わせて完成させ、友だちと助言し合う。 ・堂々と英語らしい発音で発表する。
		4	12 <u>Her Dream Came True.</u> 亡き父の夢を果たすために娘のめぐみさんは…。 ① 手紙 ② 物語 ③ 物語 AR [内容把握の確認] ・世界を旅したかった父の夢は娘のアイデアでディベアに託されることになり、世界じゅうを回った。	Reading(復習)	①88w/9s/8nw ②90w/11s/4nw ③85w/11s/2nw ・この時期としては平均的な総語数でしかも新出文法がない読み物。①の手紙はリスニングで大意を把握させ、②③は問題プリントを作成し読解の補助をして読み進ませる。 ・その後、学年の締めくくりとして、感情を込めた音読または暗唱に取り組みさせる。 ・最後は、音読や暗唱、retellingの発表につなげて、活動によっては生徒全員で評価しながら聞く。また、発表の様子をビデオ撮影し、後日自分の発表を見てふり返る。
付録			Extensive Reading	総語数=w 文数=s	内 容
			Maria Talks about Her Life.	①69w/10s ②106w/12s ③109w/12s ④60w/7s	・映画The Sound of Musicのその後の様子をマリアが語る。
巻末資料			①Basic Dialogのまとめ(Basic Dialog の英文と訳が掲載されているので、ペア活動や英文を書く練習ができる。) ②クイックQ&A(ウォームアップ活動などでよく使用するQ&Aをペアで練習し、スムーズに言えるようにする。) ③英語の音声 ④英語のつづり字と発音(英語のつづり字と発音の関係をまとめたもの。単語が読めて覚えやすくなる。) ⑤短縮形のまとめ ⑥数の言い方 ⑦英語の歌 I Just Called to Say I Love You / If We Hold On Together / 未来へ(English version) ⑧単語と熟語 ⑨不規則動詞活用表 ⑩学校の内外 ⑪いろいろな職業 ⑫いろいろな前置詞 ⑬感情や状態を表す形容詞 ⑭日本の祝日・学校行事 ⑮町を案内しよう [付録]英語で「できるようになったこと」リスト(とじ込み)		

本「年間指導計画(例)」は実際に指導計画を作成される場合の目安です。  
各学校の実態に応じて、適宜、調整するなどしてご利用ください。

■第3学年(合計85時間)

★Sec=Section(各プログラムのセクション番号) ★PU=POWER-UP/L=Listening/S=Speaking/W=Writing  
★MP・SP=My Project(パフォーマンス活動)・Special Project ★AR=After Reading(読み物教材の事後活動)

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
4	1		<b>Classroom English</b> <b>英語を使ってみよう</b>	1.Activity, 2.Reading, 3.Writing の指示を出すときのClassroom English	・3年生では、ほとんどの指示を英語で行い、英語を使わせるようにする。
			<b>辞書を使いこなそう</b>	句動詞の引き方	辞書のどこをどのように読むべきか再確認する。
4	6	1	<b>A History of Vegetables</b> 野菜のルーツについて学ぶ。	受動態(過去) 現在完了(完了/肯定・疑問・否定)	①76w/14s/9nw ②65w/16s/3nw ③73w/13s/10nw ・形式は対話文と③の後半にスピーチが入っているが、内容は説明文なので、その情報を正しく、素早く理解したい。全体のストーリーを3回くり返し聞かせて大意をノートにメモ→ペアで内容を確認→どのようなことを聞き取ったか、情報を1つずつ発表させて、多くの生徒に発言させる。 ・ペアで役割を交代しながら音読練習→発表、ペア活動、音読発表で緊張感を乗り越えさせ意欲的な雰囲気を作る。重要な文に絞ってディクテーションさせる。 ・野菜のルーツに関するretellingや好きな野菜についての1分間即興スピーチをする。
		① ② ③	対話:「～された」。 対話(電話):「～してしまった」。 対話+スピーチ原稿: 「(もう)～してしまいましたか」。 「(まだ)～していない」。 ・スピーチの課題が「野菜のルーツについて」に決まり、由紀はジャガイモ、大介はキュウリのルーツについて調べる。	①Where <b>was it taken</b> ? <b>It was taken</b> in Hokkaido. ② <b>I've already learned</b> a lot about it. ③ <b>Have you finished</b> your homework <b>yet</b> ? <b>Yes, I have.</b> <b>I haven't finished</b> mine <b>yet.</b>	
5	2	PU1	L&S: <b>旅行(機内で)</b>	飛行機の機内アナウンス・会話	スキットを演じ、学級の雰囲気を和やかにする。
		6	2 <b>Volcanoes in Japan</b> 日本の火山について学ぶ。	現在完了(継続・経験)	①73w/12s/6nw ②84w/11s/5nw ③62w/8s/11nw ・新出語句が少なく、平易だが情報量が多い。リスニングで大意を把握→内容について英語で質問して再度聞かせる→その答えのある文が読まれたら生徒は挙手、確認→聞き取りづらい英文に絞ってディクテーションをさせる。 ・内容理解のあとは、音読練習(overlapping, read and look-up, etc.), プリントやデジタル教科書で主語や動詞など重要な語句を伏せて、日本語から英文を言えるようにさせる。 ・表出活動は retelling や③の手紙は主語をIからHeにかえて注意しながら読んでみる。
6	1		<b>英語のしくみ①</b>	現在完了(have [has]+過去分詞)	・既習事項を再確認し、練習問題を行う。例文をペアで訳して、正しく理解しているか確認する。また、和文英訳をペアで行う。
		6	3 <b>The 5 Rs to Save the Earth</b> 環境を守るためにできること。	It is ~ (for+人) to ..../ know how to ~/ask ~ to ...	①84w/14s/7nw ②77w/9s/4nw ③86w/10s/9nw ・教科書を閉じて音声聞かせ、内容をペアで確認。挿絵を見せて再度聞かせる。聞き取れた内容を学級全体で確認する。次に、本文をじっくりと読ませて内容を確認する。 ・内容理解のあとは、音読練習をする。 ・まとめは、本文の感想や自分で心がけるエコについて即興の1分間スピーチをする。
6	2	PU2	S: <b>道案内②(電車の乗りかえ)</b>	<b>Could you tell me how to get ~?</b>	・スキット練習をしてから、地図でイメージしながら英語を英語で考えて自由に対話し、流暢さを高めるようにする。
		6	① ② ③	対話:「…するのは～である」。 対話:「～の仕方を知っている」。 メール:～に…するように頼む。 ・自分たちの生活を見直して、Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repairの5Rの大切さを考える。	① <b>It's hard for me to get up</b> so early. ②I don't <b>know how to play</b> it. ③ <b>Could you ask him to call</b> me back?

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい ----- 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
	1		<b>英語のしくみ②</b>	It is ~ (for+人) to .... / how to ~ [どのように~するか, ~の仕方] / ask [tell / want] ~ to ....	・既習事項を再確認し, 練習問題を行う。例文をペアで訳して, 正しく理解しているか確認する。また, 和文英訳をペアで行う。
7	4	MP7 ① ② ③ ④	<b>あの人にインタビューしよう</b> ① 佐藤真海さんへのインタビューを読む。 ② 発明王エジソンの情報を読み, インタビューの準備をする。 ③ ペアになってインタビューを作る。 ④ ペアで発表する。	① Today we have Ms. Sato Mami, a great athlete, with us. / Thank you for talking with us., etc. ② May I ask you some questions? / Right?, etc.	・インタビューは自然な対話なのでQ&Aの内容を正しく聞き取るためのリスニング活動に適する。閉本し, 3回聞かせてインタビューの質問と答えをノートにメモさせてから確認。インタビューによく使う表現を選んで解説。 ・overlapping, shadowingで正しく発音できるようにし, 速度に慣れさせる。内容は平易なので, 日本語から英語にする練習をする。 ・本文や原稿を見ないで, ペアでインタビューの場面を思い出しながらretellingしてみる。役割を演じ, アドリブや相づちを入れる。
	5	4 ① ② ③ ④ AR	<b>Faithful Elephants</b> 戦争中に上野動物園で起こったゾウの物語。 ① 物語 ② 物語 ③ 物語 ④ 物語 [内容把握の確認] ・戦時中, 軍は猛獣が街に逃げ出して人に危害を加えないよう3頭のゾウを含む危険な動物の殺処分を動物園命じた。	Reading(復習)	①85w/9s/12nw ②87w/8s/7nw ③86w/7s/7nw ④88w/8s/11nw ・本文は各セクション80語を超えて, 新出語句も多い読み物教材。辞書を使って自力で読み進めさせたい。生徒は訳すことはできても, 要点をまとめることが苦手なので, ある程度の長さの英文は10分程度でノートに日本語または英語で要約させて理解をはかる。 ・音読練習後, 感情を込めた音読発表は表現力を高める。また, 要点を見ながらretellingをさせてみる。難しい場合はペアで互いに助け合いながらretellingさせてもよい。
	2	PU3	<b>W: お祝い・お礼メール</b>	友だちの活躍に対して, ほめたり, 励ましたりするメールを書く。	・励ましや評価のことばは, 日常の授業で友だちの活躍をほめるときにも使える。暗記し, 授業で使わせるようにする。
9	6	5 ① ② ③	<b>Sushi-Go-Around in the World</b> 回転寿司の歴史と日本食の広がり。 ① 対話:「~を...と呼ぶ」。 ② 対話:「~を...にする」。 ③ 説明文:「いつ~が...か覚えている」。 ・回転ずしの発展が世界へすしを広めるきっかけとなった。そして, 海外では健康によい日本食のレストランが増えている。	主語+動詞+目的語+補語(call A+B) [AをBと呼ぶ] / (make A+B) [AをBにする] / 主語+動詞+wh-節 ① We usually <b>call her Alex</b> . ② His songs always <b>make me happy</b> . ③ I don't remember <b>when it starts</b> .	①71w/11s/2nw ②93w/13s/6nw ③95w/10s/11nw ①②は生徒にとって興味深い情報が多く, 新出語句は少ないので, 先に英語の質問を4問程度提示して, メモを取りながら音声を聞かせる。③はグラフを見て読み取り, ペアでそれを説明し合いながら理解を進める。 ・総語数が増えてきたので速読練習をする。 ・retellingに慣れてきたら, その内容を英語で書いてoutputの正確さと力を高める。
	2	PU4	<b>S: 電話②(伝言を受ける)</b>	<b>May I leave a message?</b>	スキット練習のあと, 即興で自由に対話する。
10	6	6 ① ② ③	<b>Let's Talk about Japanese Things.</b> 日本の伝統について報告する。 ① 報告:「~している...」。 ② 報告:「~された...」。 ③ [練習問題] ・マイクと由紀はそれぞれ鳥獣戯画とけん玉について報告する。	現在分詞の後置修飾 過去分詞の後置修飾 ① I mean <b>the man reading a newspaper</b> . ② That's <b>the temple built by Ashikaga Yoshimitsu in 1397</b> .	①85w/8s/9nw ②76w/8s/4nw ③68w/8s/13nw ・長さ, 難易度は中程度なのでリスニング, 読み取りの両方に適する。本文が発表活動なので暗唱もさせたいが丸暗記は英文を覚える以外に文の順番を覚えることが重なり難易度が高い。 ・次のMP8の練習として, 話題の内容を書いたメモを見てペアで英語を言う活動をする。キーワードをもとに英語で表現するので, 丸暗記より短時間で発表が可能になる。

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい ----- 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
10	1		<b>英語のしくみ③</b>	〈主語＋動詞＋目的語＋補語〉／〈when など＋主語＋動詞〉を含む文／分詞の後置修飾	・既習事項を再確認し、練習問題を行う。例文をペアで訳して、正しく理解しているか確認する。また、和文英訳をペアで行う。
	4	MP8 ①	<b>日本文化を紹介しよう</b> ハロウィーンを紹介するスピーチ原稿を読む。	スピーチ原稿を読んで、文章の構造を考えてみる。 a. 昔の風習 b. 起源・由来	・文化や風習を紹介する文章の流れを実際に分析的に読んで理解する。 ・PC教室で調べながらワープロソフトで原稿をまとめる。MSワードを使うとスペルや語順のミスが表示されるのでノートとは違った楽しさを感じながら完成できる。
		②	日本の伝統行事や有名な祭りについての原稿を組み立てる。	c. 名称・時期 d. 現在との関連 Halloween is a special day celebrated on	・他者のアドバイスをもらい、修正し、練習を何度も重ね、発表につなげる。
		③ ④	②をまとめてスピーチ原稿を作る。 スピーチを発表する。	October 31. Some people think it is a very old festival celebrating the harvest...	
11	6	7 ① ② ③	<b>What Is the Most Important Thing to You?</b> 山本敏晴さんのボランティア報告。 報告:主格の関係代名詞who。 報告:主格の関係代名詞which。 報告:主格の関係代名詞that。 ・国際協力師として世界じゅうでボランティア活動を行っている山本さんは、現地の子どもたちに最も大切なものを絵に描いてもらった。	関係代名詞(主格)who/which/that ①The girl who has just walked away. ②I want the cake which has chocolate on it. ③I know a shop that sells nice greeting cards.	①87w/7s/11nw ②81w/8s/4nw ③85w/7s/5nw ・難易度が比較的高く情報量が多いので、プリントの表に本文に関する質問を5問程度記載し、重要語句の注をつけ、裏またはプリント下部に訳を載せた学習プリントを作成し、テスト問題形式にして7分程度で行わせる。注釈の語句にも気を配りながら長文を読んで問題を解くことに慣れさせたい。こうすると上位の生徒は問題の解答後に訳の確認、中位の生徒は問題を考えるときや困難を感じたときに注や訳を参考にできる。また、英語が苦手な生徒は先に訳を読んでから問題を解いて英文を理解し、音読練習をして定着をはかるようにすると、内容が難しくてもレベル別の取り組みが全員でできる。 ・説明文なので、最後の表出活動はretellingやrewritingさせて、そこに自分の意見や感想を入れた文をミスに気せず、即興で書かせたい。プリントを別に用意して書かせると添削する時間を長く取れるので便利である。
	1	PU5	L: <b>アナウンス(駅、空港など)</b>	場所、行先、状況を正確に聞き取る	アナウンスを聞いて問題を解く。
12	6	8 ① ② ③	<b>Clean Energy Sources</b> 風力、太陽エネルギーの話題。 対話:目的格の関係代名詞which。 発表:目的格の関係代名詞that。 [練習問題] 目的格の関係代名詞の省略。 ・大介が風車を作りながらパットとクリーンエネルギーの大切さを話している。次に大介が写真を見せながら太陽電池について発表する。	関係代名詞(目的格)which/that/省略 ①It's some money which a child gets as a New Year present. ②Have you ever tried the cake that my father makes? ③I'll show you some pictures he took. The baby you're looking at is my mother!	①76w/13s/7nw ②80w/10s/7nw ③82w/7s/5nw ・各セクション約80語で新出語句の数は平均的、対話と発表の教材なのでリスニングに適しているが、関係代名詞の長い文もある。音声を聞かせてメモを取り、ペアで確認したあとで、要点を日本語または英語でまとめる→再度音声を聞かせて、教科書を読んで確認する。 ・音読練習(overlapping, read and look-up, etc.), プリントやデジタル教科書で主語や動詞など重要な語句を伏せて、日本語から英文を言えるようにさせたい。 ・②の本文を使って、即興でテーマを生徒自身が決めて1分間スピーチをさせる。
	3	PU6	W: <b>ホームページで学校紹介</b>	ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活を英語で書く。	・グループでアイデアを出し合って、例文や和英辞典を参考に英文を作成する。

月	時	課 Sec	題材・文の形式・ねらい ----- 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	本文の指導例 (本文の総語数=w 文数=s 新出語数=nw)
12	1		<b>英語のしくみ④</b>	関係代名詞(主格・目的格・省略)	・既習事項を再確認し、練習問題を行う。例文をペアで訳して、正しく理解しているか確認する。また、和文英訳をペアで行う。
	5	9 ① ② ③ ④ AR	<b>Education First: Malala's Story</b> パキスタンの少女マララ・ユスフザイの生き方。 [内容把握の確認] ・銃撃にあいながらも、教育の大切さを訴え続けるマララ・ユスフザイが国連でスピーチするまでを簡潔にまとめた。	Reading(復習)	①85w/7s/6nw ②85w/9s/10nw ③80w/6s/5nw ④81w/8s/7nw ・読み取りに適している本文だが、まず、リスニングで全体像を把握させる。難易度は多少高いが新出文法はないのでメモを取らせながら3回程度聞かせて大意を把握させる。 ・また、この課は情報量が多いので、事前に内容に関する質問を提示して、本文を読んで詳細を確認させる。内容理解のあとは、速読練習をさせて、長い文章に慣れさせる。 ・まとめの表出活動は、本文の重要な情報を絞って要約をさせて、その後、自分の感想を入れた retelling や自分の考えを1分間スピーチで表現させる。そして、自分が話した内容をすぐに英文で書いてみる。
1	2	PU7	L: <b>有名人の名言</b>	有名人のプロフィール・名言を聞く。	気持ちを込めて音読し、発表につなげる。
	6	SP ① ② ③	<b>卒業に向けて—思いを伝えよう</b> ① 卒業に向けての4つの原稿の例を読む。 ② メッセージの内容をマッピングで整理する。 ③ 自己の原稿を作り発表する。	We're going to graduate soon. / The time has come for us to say goodbye to each other. / I feel sad. / I have a dream. / I want to be a soccer player because I like playing soccer. / I will continue to play it in high school. / I'd like to represent Japan as a soccer player some day., etc.	・中学校最後のスピーチ。卒業に向けて、夢、お世話になった人への感謝の気持ち、中学校生活の思い出、未来の自分への手紙、の4つのモデルを読んでその構成を把握する。 ・マッピングで自分の思いを整理して書きやすくする。内容に関する写真を1枚用意する。 ・英文をノートに書いて下書きを完成させたあと、専用の清書用紙を作成し、写真を貼って英文を清書し、掲示板に掲示してほかの学級、学年の生徒たちに読んでもらう。
付録			Extensive Reading	総語数=w 文数=s	内 容
	①		<b>After Twenty Years</b>	①105w/13s ②103w/12s ③93w/9s ④96w/10s	・20年ぶりに再会した2人だったが、片方は指名手配犯、もう一方は警察官になっていた…。
	②		<b>Mother Teresa</b>	①86w/9s ②129w/17s ③101w/11s ④82w/7s	・1910年に生まれたマザー・テレサの人生を簡潔にまとめた伝記。
	③		<b>The Hat</b>	①127w/11s ②139w/10s ③116w/10s ④131w/16s ⑤144w/15s	・ギリシャの若者ジョージは、帽子をなくしたことで波乱に富んだ人生を歩むことになったが…。
<b>巻末資料</b>			①Basic Dialogのまとめ (Basic Dialog の英文と訳が掲載されているので、ペア活動や英文を書く練習ができる。) ②英語で料理(お好み焼きの作り方を英語で学ぶ。) ③クイックQ&A(ウォームアップ活動などでよく使用するQ&Aをペアで練習し、スムーズに言えるようにする。) ④英語のつづり字と発音(英語のつづり字と発音の関係をまとめたもの。単語が読めて覚えやすくなる。) ⑤符号の使い方 ⑥英語の歌 Tie a Yellow Ribbon Round the Ole Oak Tree / Heal the World / Honesty ⑦単語と熟語 ⑧不規則動詞活用表 ⑨部活動 ⑩いろいろな職業 [付録]英語で「できるようになったこと」リスト(とじ込み)		